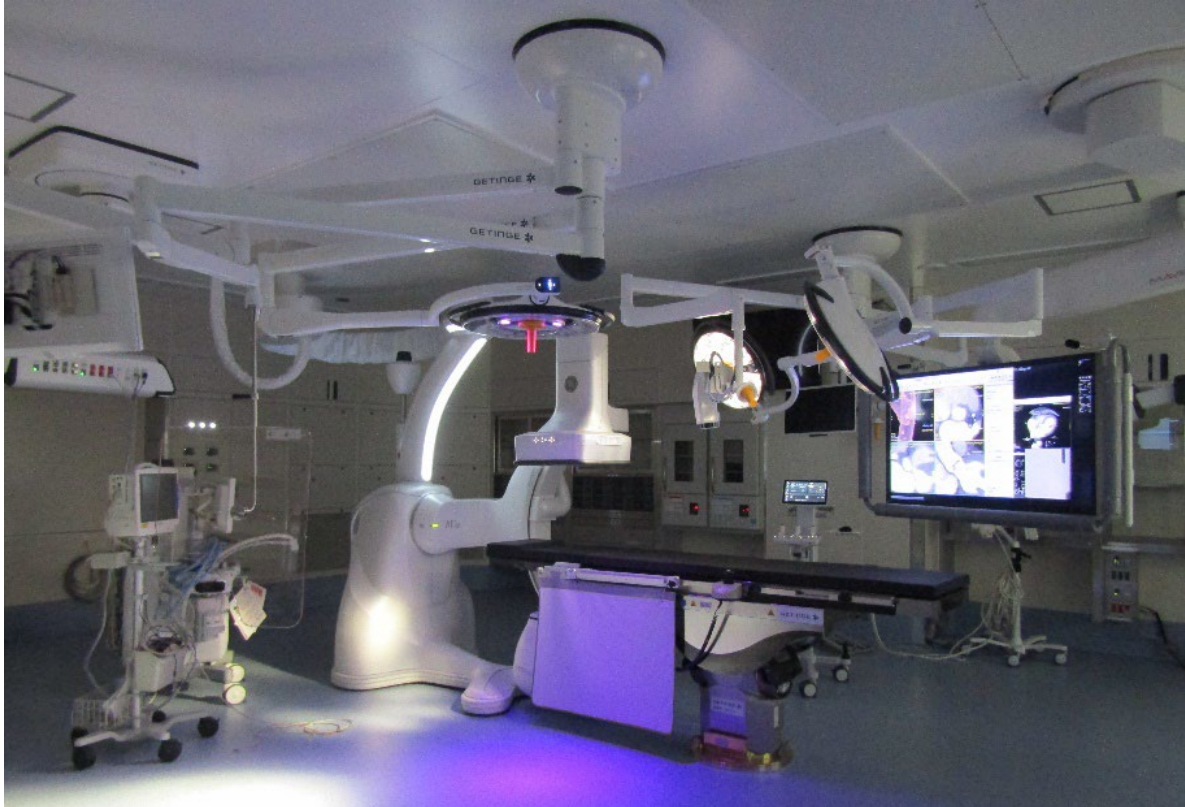


“令和4年1月新設 ハイブリット手術室始動”



○ハイブリット手術室とは

◇ハイブリット手術室の特徴◇

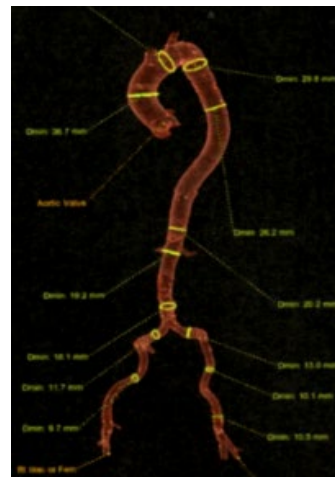
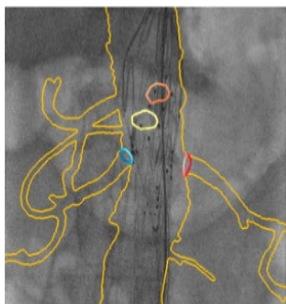
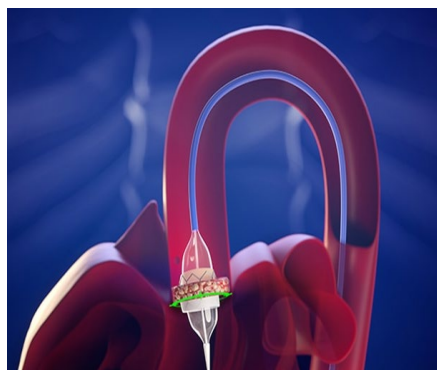
ハイブリット手術室とは、手術台と心臓・血管 X 線撮影装置を組み合わせた手術室のことです。従来カテーテル室で施行していた血管内治療が、手術室でより安全に行えると共に、手術室と心臓カテーテル室、それぞれ別の場所に設置されていた機器を組み合わせることにより、最新の医療技術に対応することができます。

当院では、多様化する心臓・血管系疾患に、より低侵襲にて対応するために新たにハイブリット手術室を新設しました。胸部や腹部を切開することなく手術・治療ができます。患者様の体への負担を最大限に抑えることが可能です。

◇次世代の高度血管治療◇

手術・治療中の透視装置の併用により、造影剤を使用した 3D 画像の構築が可能となります。これを用いることで、治療の確実性が高まり、さらに高度な血管内治療と新しい手術方法の可能性が広がります。

特に心臓血管外科・循環器内科領域では大動脈瘤に対するステントグラフト治療（血管内治療）が、より安全かつ迅速に実施可能となります。なお、他科領域でもハイブリット手術室にて低侵襲・高精度の手術を可能とします。



※カテーテル室と同様に数多くの画像を手術中に撮影ができます。

○メインスタッフ紹介

心臓血管外科部長 佐賀 俊文

日本外科学会認定外科専門医
日本心臓血管外科学会専門医
日本脈管学会脈管専門医
血管内治療認定医
胸部ステントグラフト指導医
腹部ステントグラフト指導医
下肢静脈瘤血管内焼灼術指導医
弾性ストッキング・圧迫療法コンダクター
浅大腿動脈ステントグラフト実施医



循環器内科部長 前淵 大輔

内科認定医・総合内科専門医
循環器学会専門医
医学博士
老年学会専門医
日本心血管インターベンション治療学会専門医
日本医師会認定産業医
日本老年医学会高齢者栄養療法認定医
心エコー図学会 SHD 認証医

